

海軍機關學校

微積分教科書 卷之三

第三學年

昭和十二年七月



昭和十二年七月

海軍機關學校長 兼 田 市 郎

本書ニ依リ微積分ヲ修得スヘシ

第一版 昭和十二年七月 海軍教授 吉松航太郎 編纂

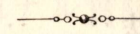
沿 革

第一編 微分方程式 第一章 微分方程式及其解法 第二章 微分方程式及其解法 第三章 微分方程式及其解法

海軍附屬學對員 兼 川 市 部

微 積 分

目 次



第七編	微分方程式	.. .. .	I
第二十一章	微分方程式ト其解	.. .. .	I
84.	微分方程式及其分解	.. .. .	I
85.	微分方程式ノ一般解及特殊解	.. .. .	3
86.	一階微分方程式ノ解ノ幾何學の意味特異解	.. .. .	5
第二十二章	一階一次微分方程式	.. .. .	8
87.	變數分離形	.. .. .	8
88.	同次形	.. .. .	10
89.	完全微分形	.. .. .	13
90.	一次形	.. .. .	17
第二十三章	一階高次微分方程式	.. .. .	19
91.	微分方程式ガ $\frac{dy}{dx}$ = 關シ一次因數ニ分解シ得ル 場合	.. .. .	19
92.	微分方程式ガ $y$ 又ハ $x$ = 關シ一次ナル場合	.. .. .	21
93.	くれ一ろノ方程式	.. .. .	22

第二十四章 線狀二階微分方程式	.. ..	26
94. 線狀二階微分方程式	.. ..	26
95. 係數ガ常數ナル線狀二階微分方程式	.. ..	28
96. 補助方程式ガ等根ヲ有スル場合	.. ..	29
97. 補助方程式ガ虚根ヲ有スル場合	.. ..	30
98. 特殊解ヲ求ムル法	.. ..	31
99. 特殊解ヲ求ムル別法	.. ..	34
第八編 圖表學初歩	.. ..	37
第二十五章 二變數ノ圖表	.. ..	37
100. ぐらふ	.. ..	37
101. 函數尺	.. ..	37
第二十六章 三變數ノ圖表	.. ..	39
102. 三變數間ノ函數關係	.. ..	39
103. 共點圖表	.. ..	39
104. 共線圖表	.. ..	42
105. 共線圖表ノ第一形式	.. ..	43
第二十七章 三變數ノ共線圖表ノ原理	.. ..	47
106. 直線座標	.. ..	47
107. 双對的關係	.. ..	49
108. 三變數ノ共線圖表ノ原理	.. ..	50

第二十八章 三變數共線圖表ノ二三ノ形式	54
109. 第一形式ノ變形 (1)	.. .. 54
110. 第一形式ノ變形 (2)	.. .. 56
111. 第二形式	.. .. 57
第二十九章 簡單ナル實驗公式	.. .. 61
112. 實驗公式	.. .. 61
113. $y = a + bx$	.. .. 62
114. $y = ax^b$	.. .. 65
附・錄 學用語英譯	.. .. 66

# 微 積 分

## 第七編

### 微 分 方 程 式

#### 第二十一章

##### 微分方程式ト其解

### 84. 微分方程式及其分類、

自然科学ノ研究ニ於テ獨立變數ト從屬變數トノ關係ハソノ導函數ヲ用ヒテ表現セラレル場合ガ多ク、今化學反應ハソノ濃度ニ比例スルトイフ法則ニ例ヲトルト變化スル物質ノ最初ノ濃度ヲ  $a$  トシ  $t$  秒後マデニ其ノ中  $x$  ダケ變化シタトスレバ、物質ノ濃度ハ  $a-x$  トナリ、之ガソノ反應ノ速度  $\frac{dx}{dt}$  ニ比例スルノデアルカラ

$$\frac{dx}{dt} = k(a-x) \dots \dots \dots (1)$$

ナル關係ヲ得、

$$\frac{dt}{dx} = \frac{1}{\frac{dx}{dt}} \text{ デアルカラ (1) ヨリ}$$

$$\frac{dt}{dx} = \frac{1}{k} \frac{1}{a-x}$$

長 瀬 通

代 算 法

(2).....  
 第二十二章  
 微分方程式ノ解法  
 (3).....

(4).....

故 =

$$t = \frac{1}{k} \int \frac{dx}{a-x} + c$$

即チ

$$t = -\frac{1}{k} \log(a-x) + c \dots \dots \dots (2)$$

コ、 = c ハ任意ノ常數デアル、

然ルニ最初即チ t=0 ナルトキハ x=0 デアルカラ (2) ニ於テ t=0, x=0 トオクト

$$0 = -\frac{1}{k} \log a + c$$

故 =

$$c = \frac{1}{k} \log a$$

依ツテ

$$kt = \log \frac{a}{a-x} \dots \dots \dots (3)$$

ナル t ト x トノ關係式ヲ得、

(1) ナル如ク二ツノ變數間ノ關係ヲソノ導函數ヲ用ヒテ表ハセル關係式ヲ微分方程式トイヒ、之ヲ満足スル二變數間ノ關係式 (2) 又ハ (3) ヲソノ解トイフ、(2) ニ於テ c = 如何ナル數値ヲ與ヘルモ (1) ナル微分方程式ヲ満足スルガ自然科學ノ研究ニ於テハ所與ノ條件ニヨリ c ノ適當ナル數値ヲ決定シ例ヘバ (3) ナル關係式ヲ求メネバナラナイ、然シ本教程ニ於テハ是等ノ問題ニハ觸レズ單ニ微分方程式ノ形式的取扱ヒニツイテ論ズルコト、スル、

一般ニ獨立變數、從屬變數及其導函數ノ間ニ一定ノ關係ガ成立スルトキコノ關係式ヲ微分方程式トイフ、

例ヘバ

$$\frac{d^2 y}{dx^2} + a^2 y = 0 \dots \dots \dots (4)$$

(6) ..... 0 = \frac{1}{k} \int \frac{dx}{a-x} + c

(8) ..... 0 = -\frac{1}{k} \log(a-x) + c

(7) ..... 0 = \frac{1}{k} \log \frac{a}{a-x}

.....

$$\frac{d^2y}{dx^2} + k = 0 \dots\dots\dots (5)$$

$$\left\{ 1 + \left( \frac{dy}{dx} \right)^2 \right\}^{\frac{3}{2}} + k = 0 \dots\dots\dots (5)$$

$$x \frac{\partial z}{\partial x} + y \frac{\partial z}{\partial y} - z = 0 \dots\dots\dots (6)$$

$$(1 + x^2)y^3 + x^2(y+1) \frac{dy}{dx} = 0 \dots\dots\dots (7)$$

ハ凡テ微分方程式デアル、

微分方程式ガ唯一種ノ獨立變數ヲ含メバ之ヲ常微分方程式トイヒ之ニ反シ少クモ二種以上ノ獨立變數ヲ含メバ之ヲ偏微分方程式ト云フ、例ヘバ (4), (5), (7) ハ常微分方程式ニシテ (6) ハ偏微分方程式デアル、

微分方程式ニ含マレル最高次ノ導函數ノ次數ヲ其微分方程式ノ階數トイヒ、其微分方程式ヲ導函數ニ關シテ有理方程式ニ書キ直ホシタルトキソノ中ニアル最高次ノ導函數ノ冪指數ヲ其微分方程式ノ次數トイフ、例ヘバ (4) ハ二階一次 (6) 及 (7) ハ一階一次デアル、(5) ハ之ヲ  $\frac{d^2y}{dx^2}, \frac{dy}{dx}$  ニ關シテ有理方程式ニ書キ直ホシテ二階二次ナルコトヲ知ル、

## 85. 微分方程式ノ一般解及特殊解、

微分方程式ヲ満足スル獨立變數ト從屬變數トノ關係式ヲ得ルトキハ微分方程式ヲ解キ得タトイヒ、ソノ關係式ヲ微分方程式ノ解トイフ、

最モ簡單ナル微分方程式ハ  $\frac{dy}{dx} = f'(x)$  ニシテ  $y = f(x) + c$  ハソノ解デアル、コゝニ  $c$  ハ任意常數デアル、

$$\text{今} \quad F(x, y, c) = 0 \dots\dots\dots (1)$$



ヲ  $x = \text{關シ}$  微分スルト

$$\frac{\partial F}{\partial x} + \frac{\partial F}{\partial y} \frac{dy}{dx} = 0 \dots\dots\dots (2)$$

(1) 及 (2) カラ  $c$  ヲ消去スルト

$$f\left(x, y, \frac{dy}{dx}\right) = 0 \dots\dots\dots (3)$$

ナル一階微分方程式ヲ得、(1) ハ之ヲ満足スルカラ其解デアツテ一ツノ任意常數ヲ含ム、

$$\text{次ニ} \quad F(x, y, c_1, c_2) = 0 \dots\dots\dots (4)$$

ヲ二回微分スルト

$$\frac{\partial F}{\partial x} + \frac{\partial F}{\partial y} \frac{dy}{dx} = 0 \dots\dots\dots (5)$$

$$\frac{\partial^2 F}{\partial x^2} + 2 \frac{\partial^2 F}{\partial x \partial y} \frac{dy}{dx} + \frac{\partial^2 F}{\partial y^2} \left(\frac{dy}{dx}\right)^2 + \frac{\partial F}{\partial y} \frac{d^2 y}{dx^2} = 0 \dots\dots\dots (6)$$

(4), (5), (6) カラ  $c_1, c_2$  ヲ消去スルト二階微分方程式

$$f\left(x, y, \frac{dy}{dx}, \frac{d^2 y}{dx^2}\right) = 0 \dots\dots\dots (7)$$

ヲ得 (4) ハノ解ニシテ二ツノ任意常數  $c_1, c_2$  ヲ含ム、

一般ニ  $n$  個ノ任意常數  $c_1, c_2, \dots, c_n$  ヲ含ム  $x$  ト  $y$  トノ關係式

$$F(x, y, c_1, c_2, \dots, c_n) = 0 \dots\dots\dots (8)$$

ヲ  $n$  回微分シテ  $c_1, c_2, \dots, c_n$  ヲ消去スルトキハ

$$f\left(x, y, \frac{dy}{dx}, \frac{d^2 y}{dx^2}, \dots, \frac{d^n y}{dx^n}\right) = 0 \dots\dots\dots (9)$$

ナル  $n$  階微分方程式ヲ得、(8) ハツノ解デアツテ  $n$  個ノ任意常數  $c_1, c_2, c_3, \dots, c_n$  ヲ含ム、

一般ニ  $n$  階微分方程式ハ  $n$  個ノ任意常數ヲ含ム解ヲ有ス、カ  
、ル解ヲソノ一般解トイヒ、一般解ノ任意常數ノ若干ニ特殊ナル  
値ヲ與ヘテ得タルモノヲ特殊解トイフ、

例ヘバ前節(2)及(3)ハ共ニ(1)ノ解デアルガ(2)ハ一般解、(3)  
ハ特殊解デアル、

## 86. 一階微分方程式ノ解ノ幾何學的意味、特異 解、

一階微分方程式

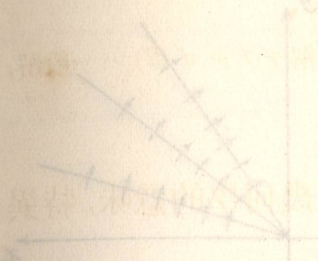
$$\frac{dy}{dx} = f(x, y) \dots \dots \dots (1)$$

ニ於テ  $x, y$  ニ一定ノ數値ヲ與ヘルト  $\frac{dy}{dx}$  ノ値ガ定マル、之ヲ幾何  
學的ニ言ヘバ方程式(1)ニ依リ平面上ニ點  $(x, y)$  ヲ定メルトソノ  
點ヲ通ル曲線ノ方向ガ決定スル、今點ノ位置トソノ方向トヲ合セ  
考ヘタモノヲ線素トイフコト、スレバ(1)ナル微分方程式ハ平  
面上ニ無限個ノ線素ヲ定義シテキルコト、ナル、

今(1)ノ一般解ヲ

$$F(x, y, c) = 0 \dots \dots \dots (2)$$

トスレバ  $c$  ノ各値ニ對シテハ(2)ハソレゾレ曲線ヲ表ハスカラ  
(2)ハ一ツノ曲線群ヲ定義シテ居ル、而シテソレニ屬スル一曲线即  
チ  $c$  ニ特定ノ値ヲ與ヘタモノガ特殊解デアル、ソノ曲線上ニ於テ  
 $x, y$  ノ値ヲ定メルトソレニ對シ  $y'$  ノ値ハ定マリ、カカル  $x, y, y'$   
ノ一組ノ値ハ(1)ヲ満足スル、サレバ微分方程式(1)ヲ解クトイ  
フコトハ之ヲ幾何學的ニ考ヘルト(1)ニ依ツテ定義セラレテキル  
平面上ノ線素ヲ適當ニ繼ギ合セテ曲線群(2)ヲ求メルコトデアル、



例 1.

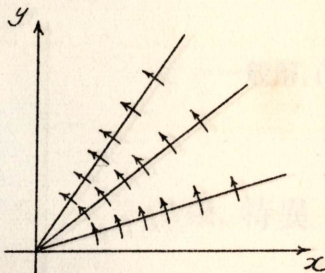
$$y \frac{dy}{dx} + x = 0 \dots\dots (3)$$

(3) を

$$\frac{dy}{dx} = -\frac{x}{y}$$

ト書き直ホシ  $\frac{x}{y} = a$  トオケバ

$$\frac{dy}{dx} = -a \text{ デアルカラ } \frac{x}{y} = a \text{ ナル}$$



直線上ノ凡テノ點デ同一ノ方向ヲ有ス、

次ニ (3) ノ一般解ヲ求ムレバ

$$x^2 + y^2 = c \dots\dots (2)$$

デアツテ圖ニ於ケル線素ヲ適當ニ追跡スレバ (4) ナル同心圓群トナル、

例 2.

$$y^2 \left\{ 1 + \left( \frac{dy}{dx} \right)^2 \right\} = 1 \dots\dots (5)$$

$$\text{一般解ハ } (x+c)^2 + y^2 = 1 \dots\dots (6)$$

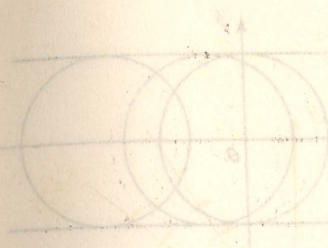
デアル、然ルニ

$$y = \pm 1 \dots\dots (7)$$

ハ明カニ (5) を満足スル故ニ其解デアル、然ルニ (6) ニ於テソノ任意常數  $c$  ニ如何ナル値ヲ與ヘテモ (7) を誘導スルコトハ出来ナイ、即チ (7) ハ (5) ノ特殊解デハナイ、

此ノ如ク微分方程式ノ一般解中ニ含マレナイ解ヲ特異解トイフ、 $y = \pm 1$  ハ (5) ノ特異解デアル、幾何學的ニ之ヲ云ヘバ一般解

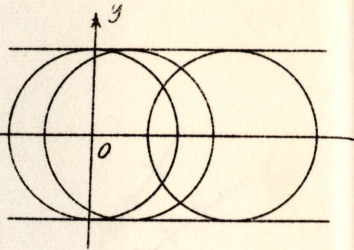
$$(x+c)^2 + y^2 = 1$$



半徑  $r$  中心  $(-c, 0)$  上ノ半圓  
 ハ  $(x+c)^2 + y^2 = r^2$  ヲ  
 解キ得ル  $y = \pm \sqrt{r^2 - (x+c)^2}$   
 然レドモ  $y = 0$  上ノ半圓  
 亦チ  $y = 0$  上ノ半圓トシテ  
 解キ得ル。故ニ  $y = 0$  上ノ半圓  
 亦チ (5) ノ解トナル。

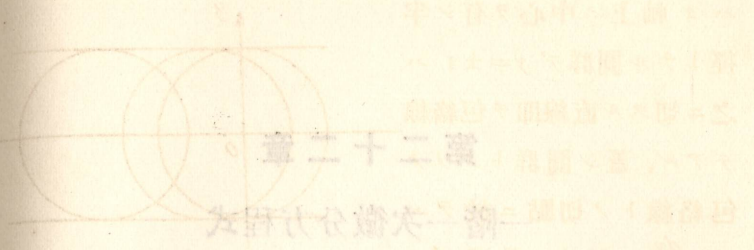
(6) 式  $(x+c)^2 + y^2 = 1$  中ノ  $c$  任意  
 常數トシテ  $c = 0$  上ノ半圓  
 亦チ (5) ノ解トナル。然レドモ  
 (7) 式  $y = \pm 1$  上ノ半圓  
 亦チ (5) ノ解トナル。然レドモ  
 (7) 式  $y = \pm 1$  上ノ半圓  
 亦チ (6) 式  $(x+c)^2 + y^2 = 1$  中  
 之ニ含マレナイ。故ニ (7) 式  
 $y = \pm 1$  上ノ半圓  
 亦チ (5) ノ特異解トナル。

ハ  $x$  軸上ニ中心ヲ有シ半  
徑1ナル圓群デ  $y = \pm 1$  ハ  
之ニ切スル直線即チ包絡線  
デアアル、蓋シ圓群トノソノ  
包絡線トノ切點ニ於テハ  
 $x, y, \frac{dy}{dx}$  ハ雙方ニ共通デア



ルカラ  $y = \pm 1$  モ亦 (5) ノ解デアアルコトガ諒解出來ルデアラウ  
一般ニ微分方程式ニ於テハ一般解ノ外ニ特異解ナルモノガ  
在シ得ルコトニ注意セネバナラナイ、

以上ハ主トシテ常微分方程式ニ就イテ述べタノデアツテ偏  
分方程式ニ於テハ稍ソノ事情ヲ異ニスル、本教程ニ於テハ主  
シテ常微分方程式ニ就キテ述べル、



Chapter 22 content is very faint and mostly illegible. Some visible text includes "章二十二" and "大群式代通大".

演習代題雙 78

$$(x) \frac{dy}{dx} = \frac{y}{x}$$

微分方程式ニ就キテ述べル、本教程ニ於テハ主シテ常微分方程式ニ就キテ述べル、

バトイ演習代題雙

$$(y) \frac{dy}{dx} = \frac{y^2}{x}$$

$$y + x \frac{dy}{dx} = \frac{y^2}{x}$$

$$y + x \frac{dy}{dx} = \frac{y^2}{x}$$

## 第二十二章

## 一階一次微分方程式

一階一次微分方程式ノ一般形ハ

$$\frac{dy}{dx} = f(x, y)$$

デアルガカ、ル簡單ナルモノニ就イテモノノ一般の解法ハ存  
ズ、 $f(x, y)$  ガ特殊ノ形ヲトルトキニノミツノ解法ガ存スルノデ  
ツテ以下ツノ標準形ニツキテ論ズル、

## 87. 變數分離形、

$$\frac{dy}{dx} = f(x) \cdot g(y)$$

コノ場合ニハ微分方程式ヲ次ノ形ニ書キ直ホスコトヲ得、即チ  
變數分離形トイフ、

$$\frac{1}{g(y)} \frac{dy}{dx} = f(x)$$

依ツテ

$$\int \frac{1}{g(y)} \frac{dy}{dx} dx = \int f(x) dx + c$$

即チ

$$\int \frac{dy}{g(y)} = \int f(x) dx + c$$

[注意] 形式的ニハ (1) ヲ次ノ如ク書キ直ホシテ計算スルコトガ出来ル、

$$\frac{dy}{g(y)} = f(x)dx$$

$$\therefore \int \frac{dy}{g(y)} = \int f(x)dx + c$$

例、  $(x^2 - yx^2) \frac{dy}{dx} + y^2 + xy^2 = 0$

$x^2 y^2$  テ割レバ

$$\frac{1-y}{y^2} \frac{dy}{dx} + \frac{1+x}{x^2} = 0$$

故ニ  $\int \frac{1-y}{y^2} \frac{dy}{dx} dx + \int \frac{1+x}{x^2} dx = c$

即チ  $\log \frac{x}{y} - \frac{x+y}{xy} = c$

問 題

1. 次ノ微分方程式ヲトケ、

(1)  $x^3 \frac{dy}{dx} - (1+x)y^2 = 0$

(2)  $2(1-y^2)xy dx + (1+x^2)(1+y^2)dy = 0$

(3)  $\cos^2 x \frac{dy}{dx} + \sin x \cos^2 y = 0$

(4)  $(1+xy)y + (1-xy)x \frac{dy}{dx} = 0$  [ $xy = z$  トオケ]

2. 一平面上ニ於テ運動スル質點ノ運動ノ方向ガ常ニ一定點ヨリソノ質點ニ至ル方向ニ垂直デアルトイフ、ソノ質點ノ運動ノ軌跡ヲ求メヨ、

.....

..... 88

(1) .....  $\left(\frac{y}{x}\right) \lambda = \frac{dy}{dx}$

.....

.....  $v = \frac{y}{x}$

.....

.....  $\frac{dy}{dx} = v + x \frac{dv}{dx}$

..... (1) .....  $v = \frac{y}{x}$

.....  $(v) \lambda = \frac{dy}{dx} = v + x \frac{dv}{dx}$

.....

.....  $\frac{dv}{v} = -\frac{dx}{x} \Rightarrow \log v = -\log x + c \Rightarrow v = \frac{c}{x} \Rightarrow \frac{y}{x} = \frac{c}{x} \Rightarrow y = c$

.....

.....

.....  $(v) \lambda = \frac{dy}{dx} = v + x \frac{dv}{dx}$

.....

.....

.....

(2) .....  $0 = \frac{dy}{dx} = \frac{y}{x} + x \frac{dy}{dx}$

3. 直交軸ニ關シ切線影ノ長サガ一定ナル如キ曲線ヲ求メヨ、

### 88. 同次形、

$$\frac{dy}{dx} = f\left(\frac{y}{x}\right) \dots \dots \dots (1)$$

ナルトキコレヲ同次形トイフ、

之ヲ解クニハ

$$\frac{y}{x} = v, \text{ 即チ } y = xv$$

ト置く、然ルトキハ

$$\frac{dy}{dx} = v + x \frac{dv}{dx}$$

デアアルカラ (1) ハ

$$v + x \frac{dv}{dx} = f(v)$$

トナリ之ハ變數分離形デアアル、之ヲトキ

$$\log x = \int \frac{dv}{f(v) - v} + c \text{ 又ハ } x = c \cdot e^{\int \frac{dv}{f(v) - v}}$$

ヲ得、コレニ於テ  $v$  ラ  $\frac{y}{x}$  ト書き直ホシテ原式ノ解ヲ得、

[注意] 函數  $f(x, y)$  = 於テ

$$f(tx, ty) = t^r f(x, y)$$

ナルトキ  $f(x, y)$  ヲ  $r$  次ノ同次函數デアルトイフ、

今  $P(x, y)$ ,  $Q(x, y)$  ガ同ジ次數ヲ有スル同次函數ナルキハ微分方程式

$$P(x, y) + Q(x, y) \frac{dy}{dx} = 0 \dots \dots \dots (2)$$

ハ (1) ナル形ニ書き直ホスコトガ出来ル、即チ (2) ハ同次形、  
アル、

例 1.  $(xe^{\frac{y}{x}} + y)dx - xdy = 0$

$y = vx$  トオケバ

$$dy = xdv + vdx$$

故ニ  $x(e^v + v)dx - x(vdx + xdv) - x^2dv = 0$

即チ  $\frac{dx}{x} - \frac{dv}{e^v} = 0$

依ツテ  $\log x + e^{-v} = c$

即チ  $\log x + e^{-\frac{y}{x}} = c.$

例 2.  $(Ax + By + C) + (ax + by + c) \frac{dy}{dx} = 0$

今  $x = x_1 + h, y = y_1 + k$  トオケバ

$$(Ax_1 + By_1 + Ah + Bk + C) + (ax_1 + by_1 + ah + bk + c) \frac{dy_1}{dx_1} = 0$$

今  $h, k$  フ

$$Ah + Bk + C = 0$$

$$ah + bk + c = 0$$

ナル如ク定メル即チ

$$h = \frac{Bc - bC}{Ab - aB}, k = \frac{Ca - cA}{Ab - aB}$$

トオケバ原微分方程式ハ

$$(Ax_1 + By_1) + (ax_1 + by_1) \frac{dy_1}{dx_1} = 0$$

トナリ同次形デアル、

更ニ一般ニ

$$\left( \frac{0 + 1 + xA}{x + y + 1} \right) x = \frac{y}{x}$$

$$= \text{微分} = \frac{y}{x} + 1$$

$$x + y = 1, x + y = 1$$

ハ、A、B、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z

$$0 = 0 + 1 + 1 + 1, 0 = 0 + 1 + 1 + 1$$

$$\left( \frac{0 + 1 + xA}{x + y + 1} \right) x = \frac{y}{x}$$

$$= \text{微分} = \frac{y}{x} + 1$$

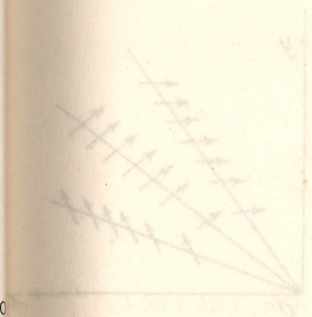
$$\log x + e^{-\frac{y}{x}} = c$$

$$= \text{微分} = \frac{y}{x} + 1$$

$$(A) = \frac{y}{x}$$

$$= \text{微分} = \frac{y}{x} + 1$$

$$= \text{微分} = \frac{y}{x} + 1$$



其ノ解曲トシテ、  
ハ、A、B、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z

微 積 分

ハ、A、B、C、D、E、F、G、H、I、J、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、U、V、W、X、Y、Z

$$0 = (x + y) \frac{y}{x} = \frac{y^2}{x} + y$$

$$0 = (x + y) \frac{y}{x} = \frac{y^2}{x} + y$$

$$0 = \frac{y^2}{x} + y = \frac{y^2 + xy}{x}$$



$$\frac{dy}{dx} = f\left(\frac{Ax+By+C}{ax+by+c}\right)$$

ナルトキモ同様ニ

$$x = x_1 + h, \quad y = y_1 + k$$

ナル變換ヲ行ヘバ宜シイ、但シ  $h, k$  ハ

$$Ah + Bk + C = 0, \quad ah + bk + c = 0$$

ヨリ決定セラレル、

然ルトキハ原方程式ハ

$$\frac{dy_1}{dx_1} = f\left(\frac{Ax_1 + By_1}{ax_1 + by_1}\right)$$

トナリ同次形デアル、

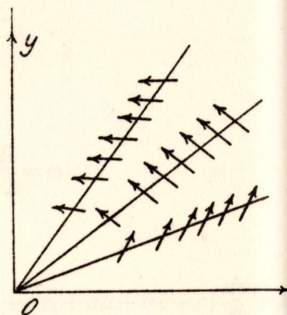
[注意] (1)ニ於テ  $\frac{y}{x} = k$  ト置  
クトキハ

$$\frac{dy}{dx} = f(k)$$

故ニ原点ヲ通過スル直線トコ

ノ微分方程式ノ一般解ノ表ハ

ス曲線群トハ一定角ヲ交ハル、從ツテ曲線群ノ各曲線ハ互  
相似テ原点ニ關シ相以ノ位置ニアル、



### 問 題

次ノ微分方程式ヲ解ケ、

1.  $2x^2y + 3y^3 - (x^3 + 2xy^2)\frac{dy}{dx} = 0$       答  $y^2(x^2 + y^2) = cx^6$
2.  $y^2dx + x(x-y)dy = 0$       答  $y = ce^{\frac{y}{x}}$
3.  $\left(x + y \cos \frac{y}{x}\right)dx - x \cos \frac{y}{x}dy = 0$       答  $\log x - \sin \frac{y}{x} = c$

4.  $(4x - y + 2)dx + (x + y + 3)dy = 0$

答  $\tan^{-1} \frac{y+2}{2(x+1)} + \log \{4(x+1)^2 + (y+2)^2\} = c$

5.  $(y + 2xy^2 - x^2y^3)dx + 2x^2ydy = 0$  答  $\frac{x + x^2y}{1 - xy} = c$

[ $xy = v$  トオケ]

6. 動徑ヲ常ニ一定ノ角デ截ル曲線ヲ求メヨ、

89. 完全微分形、

$u$  ヲ  $x$  及  $y$  ノ函數、 $c$  ヲ常數トシ、 $u=c$  ナル方程式ヲ  $x$  關シテ微分スレバ

$\frac{\partial u}{\partial x} + \frac{\partial u}{\partial y} \frac{dy}{dx} = 0$

デアル、今與ヘラレタル微分方程式

$P(x, y) + Q(x, y) \frac{dy}{dx} = 0 \dots\dots\dots (1)$

ニ於テ

$P(x, y) = \frac{\partial u}{\partial x}$ ,  $Q(x, y) = \frac{\partial u}{\partial y} \dots\dots\dots (2)$

ナル函數  $u$  ガ存在スルトキハ (1) ノ解ハ明ニ

$u = c$

然シ (2) ナル關係ヲ満足セシメル函數  $u$  ハ必ズシモ常ニ存在スルトハ限ラナイ、若シ之が存在スルナラバ (1) ナル微分方程式ヲ完全微分形トイフ、

定理、微分方程式 (1) ガ完全微分形ナルタメノ必要且十分ナル條件ハ

$\frac{\partial P}{\partial y} = \frac{\partial Q}{\partial x} \dots\dots\dots (3)$

デアル、

問ハシニハス立脚法 (6) ナリハナリハナリハナリ (1) [即脚]

ナリハナリハナリ (1) ナリハナリハナリ (6) ナリハナリ

ナリハナリ

$(x, y) = \frac{x^2}{y^2}$

今

ナリハナリ

$(x, y) + \dots = 0$

ナリハナリハナリハナリ (1) ナリハナリ

(1)  $\dots = (x, y) \dots$

ナリハナリ (2) ナリハナリハナリハナリ (2) ナリハナリ

ナリハナリハナリハナリ (1) ナリハナリ

$\dots = (x, y) \dots$

ナリハナリ (3) ナリハナリハナリハナリ (2) ナリハナリ

ナリハナリハナリハナリ (1) ナリハナリ

$\dots = (x, y) \dots$

ナリハナリハナリハナリ (1) ナリハナリ

ナリハナリハナリハナリ (1) ナリハナリ

$0 = (x^2 + y^2) + \dots = 0$

ナリハナリ (1) ナリハナリハナリハナリ (1) ナリハナリ

ナリハナリハナリハナリ (1) ナリハナリ

$x^2 + y^2 = \frac{x^2}{y^2}$

ナリ

[證明] (1) が完全微分形ナルトキ (3) が成立スルコトハ明  
 アル、次ニ (3) が成立スルトキ (1) が完全微分形ナルコトヲ  
 證明シヨウ、

今  $\frac{\partial u}{\partial x} = P(x, y)$

ト置ケバ

$$u = \int P(x, y) dx + f(y)$$

コノ  $f(y)$  ハ  $y$  ノミノ函數デアアル、依ツテ

$$Q(x, y) = \frac{\partial}{\partial y} \int P(x, y) dx - \frac{df(y)}{dy} \dots \dots \dots (4)$$

ナル如ク  $f(y)$  が決定シ得ラレタトスルト  $u$  ハ (2) を満足シ

(1) ハ完全微分形ニシテ  $u = c$  ハソノ解デアアル、

然ルニ (4) ヨリ

$$\frac{df(y)}{dy} = Q(x, y) - \frac{\partial}{\partial y} \int P(x, y) dx$$

トナリコノ式ノ右邊ハ  $x$  ニ關シ微分スルト (3) ニヨリ零ト

ナル故  $y$  ノミノ函數デアアル、依ツテ

$$f(y) = \int \left\{ Q(x, y) - \frac{\partial}{\partial y} \int P(x, y) dx \right\} dy$$

トナリ  $f(y)$  が定マル、從ツテ  $u$  ノ存在が證明セラレタ、而

シテソノ求メ方モコノ證明ニヨリ明カデアアル、

例、  $x(x^2 + 3y^2)dx + y(y^2 + 3x^2)dy = 0$

$$\frac{\partial}{\partial y} (x^3 + 3y^2) = 6xy = \frac{\partial}{\partial x} (y^3 + 3x^2y)$$

デアアルカラコノ方程式ハ完全微分形デアアル、

故ニ  $\frac{\partial u}{\partial x} = x^3 + 3xy^2$

$$(x^3 + 3xy^2 + c) = u$$

$$(x^3 + 3xy^2 + \frac{y^3}{3} + c) = u$$

$$x^3 + y^3 = (x^3 + 3xy^2 + y^3)$$

$$x^3 + \frac{y^3}{3} = (x^3 + 3xy^2 + \frac{y^3}{3})$$

$$u = x^3 + \frac{y^3}{3} + c$$

Handwritten notes and calculations on the right page, including the derivation of the general solution  $u = x^3 + \frac{y^3}{3} + c$  and various intermediate steps.

$$\begin{aligned} \text{依ツテ} \quad u &= \int (x^3 + 3xy^2) dx + f(y) \\ &= \frac{1}{4}x^4 + \frac{3}{2}x^2y^2 + f(y) \end{aligned}$$

之ヲ  $y =$  關シテ偏微分シ  $dy$  ノ係數ト比較スレバ

$$3x^2y + f'(y) = y^3 + 3x^2y$$

$$\text{從ツテ} \quad f'(y) = y^3 \quad f(y) = \frac{1}{4}y^4$$

故ニ一般解ハ

$$\frac{1}{2}x^4 + 3x^2y^2 + \frac{1}{2}y^4 = c$$

デアル、

場合ニ依ツテハ與ヘラレタ方程式ガソノ儘ニテハ完全微分形デハナイガ之ニ適當ナル因數ヲ乘ズレバ完全微分形トナコトガアル斯克ノ如キ因數ヲ積分因數トイフ、

例、 $x^3y^2 + x^2y^3 = c$  ヨリ  $c$  ヲ消去シテ微分方程式ヲ作ル  
合ヲ考ヘルニ之ヲ  $x$  ニ關シテ微分スルト

$$(3x^2y^2 + 2xy^3) + (2x^3y + 3x^2y^2) \frac{dy}{dx} = 0$$

トナリ之ハ明ニ完全微分形デアル、然シ之ヨリ  $xy$  ナル因ヲ約シ去リタル

$$(2xy + 2y^3) + (2x^2 + 3xy) \frac{dy}{dx} = 0 \dots \dots \dots (5)$$

ハ完全微分形デハナイ、

サレバ微分方程式 (5) ガ與ヘラレテキルトキハ之ニ積分因數  $xy$  ヲ乘ジ完全微分形ニ直ホシテ積分スルコトヲ得、

今一般ニ微分方程式

$$P + Q \frac{dy}{dx} = 0$$

ハ  $M(x, y) + N(x, y) \frac{dy}{dx} = 0$  形ニ變換スル

$$\left( \frac{dy}{dx} + \frac{Q}{P} y \right) = - \frac{R}{P}$$

$$\left( \frac{dy}{dx} + \frac{Q}{P} y \right) e^{\int \frac{Q}{P} dx} = - \frac{R}{P} e^{\int \frac{Q}{P} dx}$$

左邊ハ完全微分形トナルニシテ、右邊ハ  $x$  之ノ函数トナル

故ニ積分スルニシテ、 $y e^{\int \frac{Q}{P} dx} = - \int \frac{R}{P} e^{\int \frac{Q}{P} dx} dx + C$  得ル

ハ  $y$  之ノ一般解トナル

問 題

$$x^2 \frac{dy}{dx} + 2xy = y^3$$

$$\frac{dy}{dx} + \frac{2y}{x} = \frac{y^3}{x^2}$$

$$u = \frac{y}{x} \quad \frac{du}{dx} + \frac{2u}{x} = \frac{u^3}{x}$$

$$\frac{du}{dx} + \frac{2u}{x} - \frac{u^3}{x} = 0$$

$$\frac{du}{dx} + \frac{2u}{x} = \frac{u^3}{x}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$\frac{du}{u^3} + \frac{2u}{x} \frac{du}{u} = \frac{1}{x} \frac{du}{u^3}$$

$$P + Q \frac{dy}{dx} = 0$$

ノ積分因數ヲ M トスレバ、M ハ

$$\frac{\partial}{\partial y}(MP) = \frac{\partial}{\partial x}(MQ)$$

即チ 
$$Q \frac{\partial M}{\partial x} - P \frac{\partial M}{\partial y} = M \left( \frac{\partial P}{\partial y} - \frac{\partial Q}{\partial x} \right)$$

カラ決定セラレル、然シ之ハ M ニ關スル偏微分方程式ヲ解クコトハ容易デハナイ、實際ニハ簡單ニ積分因數ノ發出來ルトキニ限り之ヲ利用スル、

## 問 題

次ノ微分方程式ヲトケ、

1.  $\frac{2xy+1}{y} + \frac{y-x}{y^2} \frac{dy}{dx} = 0$       答  $x^2 + \frac{x}{y} + \log y = c$

2.  $\frac{y^2-2x^2}{xy^2-x^3} dx + \frac{2y^2-x^2}{y^3-x^2y} dy = 0$       答  $x^2y^2(y^2-x^2) = c$

3.  $(6x-2y+1)dx + (2y-2x-3)dy = 0$   
     答  $3x^2 - 2xy + y^2 + x - 3y = c$

4.  $\frac{y}{\sqrt{x^2-y^2}} dx + \left( x - \frac{x}{\sqrt{x^2-y^2}} \right) dy = 0$   
     (積分因數ハ  $\frac{1}{x}$ )      答  $\sin^{-1} \frac{y}{x} = y + c$

5.  $(x^2+y^2+y)dx - xdy = 0$       答  $x + \tan^{-1} \frac{x}{y} = c.$   
     (積分因數ハ  $\frac{1}{x^2+y^2}$ )

## 90. 一次形、

$y$  及  $\frac{dy}{dx}$  = 關シテ一次ノ有理整式ナル微分方程式ヲ一次形ト  
フ、即チ

$$\frac{dy}{dx} + Py = Q$$

コ、ニ  $P$  及  $Q$  ハ  $x$  ノミノ函數デアル、

今コノ兩邊ニ  $e^{\int P dx}$  ヲカケルト

$$e^{\int P dx} \left( \frac{dy}{dx} + Py \right) = \frac{d}{dx} \left( y e^{\int P dx} \right)$$

デアルカラ

$$\frac{d}{dx} \left( y e^{\int P dx} \right) = Q e^{\int P dx}$$

故ニ

$$y e^{\int P dx} = \int Q e^{\int P dx} dx + c$$

依ツテ

$$y = e^{-\int P dx} \int Q e^{\int P dx} dx + c e^{-\int P dx}$$

例、  $x \frac{dy}{dx} + (1+x)y = e^x$

$x$  デ兩邊ヲワリ

$$\frac{dy}{dx} + \frac{1+x}{x} y = \frac{e^x}{x}$$

サテ

$$e^{\int P dx} = e^{\log x + x} = x e^x$$

デアルカラ

$$y x e^x = \int e^{2x} dx + c$$

$$\therefore y = \frac{1}{2} \frac{e^x}{x} + c \frac{e^{-x}}{x}$$

## 問 題

次ノ微分方程式ヲトケ、

$$1. \frac{dy}{dx} - \frac{2y}{x+1} = (x+1)^3 \quad \text{答} \quad \frac{y}{(x+1)^2} = \frac{1}{2}x^2 + x + c$$

$$2. x^2 \frac{dy}{dx} + (1-2x)y = x^2 \quad \text{答} \quad e^{-\frac{1}{x}} \left( \frac{y}{x^2} - 1 \right) = c$$

$$3. y \frac{dy}{dx} + xy^2 = x \quad (y^2 = v \text{ トオケ}) \quad \text{答} \quad e^{x^2} (y^2 - 1) = c$$

$$4. \sin y \frac{dy}{dx} + \sin x \cos y = \sin x \quad (\cos y = v \text{ トオケ})$$

$$\text{答} \quad e^{\cos x} (\cos y - 1) = c$$

$$5. (1-x^3) \frac{dy}{dx} - 2(1+x)y = y^{\frac{5}{2}} \quad (y^{-\frac{3}{2}} = v \text{ トオケ})$$

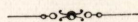
$$\text{答} \quad y^{-\frac{3}{2}} = -\frac{3}{4} \frac{1}{1+x+x^2} + \frac{c(1-x)^2}{1+x+x^2}$$

$$6. \frac{dy}{dx} - \frac{a}{3}y = \frac{x+1}{y^2} \quad \text{答} \quad y^3 = -\frac{3}{a^2}(ax+a+1) + ce^{ax}$$

$$7. \frac{dy}{dx} + y = xy^3 \quad \text{答} \quad y^{-2} = x + \frac{1}{2} + ce^{2x}$$

## 第二十三章

## 一階高次微分方程式



91. 微分方程式が  $\frac{dy}{dx}$  ニ關シテ一次ノ因數ニ  
分解シ得ル場合、

先ヅ一階二次方程式ガ  $\frac{dy}{dx}$  ニ關シテ一次ノ因數ニ分解サレル場合  
ヲ考ヘ次ノ形ヲトルモノトスル、即チ

$$\left\{ \frac{dy}{dx} - f_1(x, y) \right\} \left\{ \frac{dy}{dx} - f_2(x, y) \right\} = 0 \dots\dots\dots (1)$$

今

$$\frac{dy}{dx} - f_1(x, y) = 0 \dots\dots\dots (2)$$

$$\frac{dy}{dx} - f_2(x, y) = 0 \dots\dots\dots (3)$$

トオクトキハ (2) 又ハ (3) ノ何レカヲ満足スル  $x, y$  ノ關係ハ (1)  
ヲ満足シ、(2) 又ハ (3) ノ何レヲモ満足シナイ  $x, y$  ノ關係ハ (1)  
ヲ満足シナイ、故ニ (2) 及 (3) ノ解ヲ夫々

$$F_1(x, y, c_1) = 0 \dots\dots\dots (4)$$

$$F_2(x, y, c_2) = 0 \dots\dots\dots (5)$$

トスレバ (4) 及 (5) ハ何レモ (1) ノ解デアルカラ之ヲ

$$F_1(x, y, c_1) F_2(x, y, c_2) = 0$$



ト書ク、然ルニ一階微分方程式ノ解ハ二ツ以上ノ任意常數ヲ含  
得ナイ故

$$F_1(x, y, c)F_2(x, y, c) = 0$$

ガ (1) ノ一般解デアル、

同様ニ一階  $n$  次微分方程式ガ

$$\left\{ \frac{dy}{dx} - f_1(x, y) \right\} \left\{ \frac{dy}{dx} - f_2(x, y) \right\} \cdots \left\{ \frac{dy}{dx} - f_n(x, y) \right\} = 0$$

ナル形ヲトリ得ル場合ハ各因數ヲ 0 = 等シト置キタル微分方  
式ノ解ヲ夫々

$$F_1(x, y, c_1) = 0, F_2(x, y, c_2) = 0, \dots, F_n(x, y, c_n) = 0$$

トスルトキハ原方程式ノ一般解ハ

$$F_1(x, y, c)F_2(x, y, c) \cdots F_n(x, y, c) = 0$$

デアル、

### 問 題

次ノ微分方程式ヲ解ケ、

1.  $a \left( \frac{dy}{dx} \right)^2 = y, \quad a > 0$

答  $(x-c)^2 = 4ay$

2.  $\left( \frac{dy}{dx} \right)^2 + (x+y) \frac{dy}{dx} + xy = 0$

答  $(2y+x^2-c)(y-ce^{-x}) = 0$

3.  $x \left( \frac{dy}{dx} \right)^2 - 2y \frac{dy}{dx} - x = 0$

答  $c^2x^2 - 2cy - 1 = 0$

4.  $y^2 + \left( \frac{dy}{dx} \right)^2 = 1$

答  $y = \sin(x+c)$

## 92. 微分方程式ガ $y$ 又ハ $x$ ニ關シテ一次ナル場合、

先ヅ微分方程式ガ  $y$  ニ關シテ一次ナル場合ヲ考ヘルニ  $\frac{dy}{dx}$   $p$  ナル文字デ表ハセバ次ノ形ヲトル、

$$y=f(x, p) \quad p=\frac{dy}{dx} \dots \dots \dots (1)$$

今  $x$  ニ關シテ微分スレバ

$$p=\frac{\partial f}{\partial x} + \frac{\partial f}{\partial p} \frac{dp}{dx} \dots \dots \dots (2)$$

(2) ハ  $x$  ト  $p$  トノ一階一次方程式デアル、ソノ解ヲ

$$F(x, y, c)=0 \dots \dots \dots (3)$$

トスルトキハ (1) 及 (3) カラ  $p$  ヲ消去シテ (1) ノ一般解

$$\phi(x, y, c)=0$$

ヲ得、或ハ  $p$  ヲ媒介變數ト考フレバ (1) 及 (3) ヲ以ツテ直チニ

(1) ノ一般解トシテモ宜シイ、

特別ナル場合トシテ  $f$  ガ  $x$  ヲ含マナイトキハ

$$y=f(p)$$

$$p=f'(p) \frac{dp}{dx}$$

デアルカラ

$$y=f(p) \quad x=\int \frac{f'(p)}{p} dp + c$$

ハソノ一般解デアル、

$x=f(y, p)$   $x=f(p)$  ナル場合モ全ク同様ニ論ゼラレル、

例、  $y=x\phi(p)+f(p)$

$x$  ニ關シテ微分スレバ

$$p = \phi(p) + \left\{ x\phi'(p) + f'(p) \right\} \frac{dp}{dx}$$

依ッテ次ノ一般解ヲ得、

$$y = x\phi(p) + f(p)$$

$$x = e^{-\int \frac{\phi'(p)}{\phi(p)-p} dp} \left\{ \int e^{\int \frac{\phi'(p)}{\phi(p)-p} dp} \frac{f'(p)}{p-\phi(p)} dp + c \right\}$$

問 題

次ノ微分方程式ヲ解ケ但シ  $p = \frac{dy}{dx}$

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 1. $2px - y + \log p = 0$ | 答 $\begin{cases} x = \frac{c-p}{p^2} \\ y = \frac{2(c-p)}{p} + \log p \end{cases}$ |
| 2. $4xp^2 + 2xp - y = 0$  | 答 $(y-c)^2 = cx$   |
| 3. $xp^2 - 2yp - x = 0$   | 答 $c^2x^2 - 2cy - 1 = 0$   |
| 4. $x + py(2p^2 + 3) = 0$ | 答 $x^2 = (c - y^{\frac{2}{3}})(2c + y^{\frac{2}{3}})^2$                            |

93. くれーろーノ方程式、

前節ノ例ニ於テ  $\phi(p) = p$  ナル場合ニ之ヲ特ニくれーろーノ方程式トイフ、即チ

$$y = xp + f(p), \quad p = \frac{dy}{dx} \dots \dots \dots (1)$$

xニ關シテ微分スレバ

$$\left\{ x + f'(p) \right\} \frac{dp}{dx} = 0$$

即チ  $\frac{dp}{dx} = 0$  又ハ  $x + f'(p) = 0$

$$-1 = \frac{dy}{dx} = \frac{y}{x} \quad (1)$$

併ニ  $\frac{dy}{dx} = -\frac{y}{x}$  (1) 式

$$(2) \dots \dots \dots (2) \lambda + 2x = 1$$

$$0 = (y) \lambda + x \quad (ii)$$

イハハテハ連立ノ解ニシテ

$$(3) \dots \dots \dots (3) \lambda + 2x = 1, 0 = (y) \lambda + x$$

二式ノ(3)式ヲ減算スルニ  $x = \frac{1}{2}$  又ハ  $x = \frac{1}{2}$  則チ(1)式

イハハテハ連立ノ解ニシテ

$$\frac{dy}{dx} = \frac{y}{x} + \frac{1}{x^2}$$

左邊式ニ乗ルニ  $x^2 \frac{dy}{dx} = y + \frac{1}{x}$  則チ  $z = y + \frac{1}{x}$  (4) 式

$$\left( \frac{dz}{dx} \right) x + z = \frac{1}{x}$$

ニシテ  $z = y + \frac{1}{x}$

$z = y + \frac{1}{x}$  則チ  $\frac{dz}{dx} = \frac{dy}{dx} - \frac{1}{x^2}$  則チ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$

合ニ中ノ解ニシテ(1)式ニ代ルニ  $z = \frac{1}{x}$  則チ  $y = \frac{1}{x} - \frac{1}{x} = 0$

又ハ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$  則チ  $y = 0$

則チ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$  則チ  $y = 0$

則チ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$  則チ  $y = 0$

則チ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$  則チ  $y = 0$

則チ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$  則チ  $y = 0$

則チ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$  則チ  $y = 0$

$$(4) \dots \dots \dots 0 = \frac{1}{x} \quad 0 = (y) \lambda + x$$

則チ  $z = y + \frac{1}{x} = \frac{1}{x}$  則チ  $y = 0$

$$(i) \frac{dp}{dx} = 0 \text{ 従テ } p=c$$

之ヲ (1) = 代入シテ次ノ一般解ヲ得、

$$y=cx+f(c) \dots \dots \dots (2)$$

$$(ii) x+f'(p)=0$$

$p$  ヲ媒介變數ト考ヘルト

$$x+f'(p)=0, y=xp+f(p) \dots \dots \dots (3)$$

ハ (1) ノ解デアル、何トナレバ  $p$  ヲ  $x$  ノ函數トシテ (3) ノ第二式ヲ微分スルト

$$\frac{dy}{dx} = p + \left\{ x+f'(p) \right\} \frac{dp}{dx}$$

トナリ (3) ノ第一式ヲ用ユレバ與ヘラレタル微分方程式

$$y = x \frac{dy}{dx} + f \left( \frac{dy}{dx} \right)$$

ヲ得ルカラ、

然ルニ  $x+f'(p)=0$  ナル故  $p$  ハ明カニ  $x$  ノ函數デアツテ  $p=c$  ノ特殊ナル場合デハナイ故ニ (3) ナル解ハ (1) ナル一般解ノ中ニ含まレナイ、即チ (3) ハ特異解デアル、

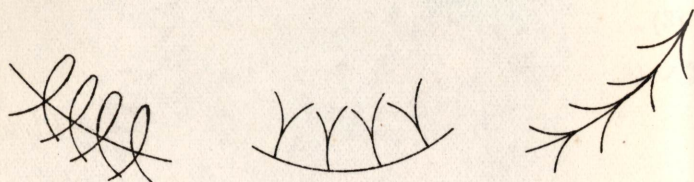
(3) = 於テ  $p$  ハ媒介變數デアルカラ  $p$  ヲ  $c$  ト書イテモヨイ、然ルトキハ (2) ナル一般解ハ一ツノ曲線群ヲ表ハスガ (3) ハソノ包絡線デアルコトハ明カデアル、

一般ニ微分方程式  $f(x, y, p)=0$  ハ  $x, y, p$  ノ關係ヲ示スモノデアルカラソノ一般解  $F(x, y, p)=0$  ナル曲線群ガ包絡線

$$F(x, y, c)=0, \quad \frac{\partial F}{\partial c} = 0 \dots \dots \dots (4)$$

ヲ有スル場合ニハ之ハ原微分方程式ノ特異解デアル、

然シ(4)ハ必ズシモ  $F(x, y, c) = 0$  ノ包絡線トハ限ラナイ、(4)ハ重複點ノ軌跡ヲモ表ハシ得ルノデアツテ、曲線ト包絡線トノ共通點ニ於テハ  $\frac{dy}{dx}$  ノ値ハ相等シイガ曲線ト重複點トノ共通點ニ於テハ必ズシモ然ラズ、從ツテ(4)ガ重複點ノ軌跡ヲ表ハス場合ニハ之ハ必ズシモ原微分方程式ノ解デハナイ、



故ニ一般解  $F(x, y, c) = 0$  ガ重複點ヲ有シナイ場合ニハ

$$F(x, y, c) = 0, \quad \frac{\partial F}{\partial c} = 0$$

ハ特異解デアルガ、 $F(x, y, c) = 0$  ガ重複點ヲ有スル場合ニハ之ヲ微分シテ原方程式ヲ満足スルヤ否ヤヲ檢セネバナラナイ、

例、 $y = ap^3$   $a > 0$

之ヲ微分スレバ

$$p = 3ap^2 \frac{dp}{dx}$$

即チ

$$1 = 3ap \frac{dp}{dx} \text{ 又ハ } p = 0$$

$$(i) \quad 1 = 3ap \frac{dp}{dx}$$

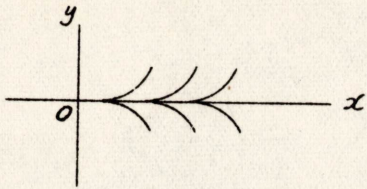
$y = ap^3$ ,  $x = 3a \frac{p^2}{2} + c$  ヲリ  $p$  ヲ消去シテ次ノ一般解ヲ得、

$$8(x-c)^3 = 27ay^2$$

(ii)  $p=0$

$y=ap^3$ ,  $p=0$  ヨリ  $y=0$  ナル特異解ヲ得、

此ノ場合  $y=0$  ハ尖點ノ軌跡ニシテ同時ニ包絡線デアル、



問 題

次ノ微分方程式ヲ解ケ、但シ  $p = \frac{dy}{dx}$

1.  $y = xp + \sqrt{1+p^2}$

答  $y = cx + \sqrt{1+c^2}$   
 $x^2 + y^2 = 1$

2.  $4e^{2y}p^2 + 2xp - 1 = 0$  [ $e^{2y} = v$  トオケ]

答  $e^{2y} = cx + c^2$

3.  $y = 2px + y^2p^3$

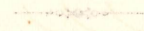
答  $y^2 = cx + \frac{1}{8}c^3$

4.  $(x^2 - 1)p^2 - 2xyp = x^2$

5.  $3xy + 2p^2 = 2x^2p$

章 四 十 二

友 誼 式 分 類 二 類 解



友 誼 式 分 類 二 類 解

友 誼 式 分 類 二 類 解

(1) .....  $X = \sqrt{X} + \dots$

友 誼 式 分 類 二 類 解

(1)  $X = \sqrt{X} + \dots$

$X = \sqrt{X} + \dots$

$X = \sqrt{X} + \dots$

$X = \sqrt{X} + \dots$

$X = \sqrt{X} + \dots$

$X = \sqrt{X} + \dots$

## 第二十四章

## 線状二階微分方程式

## 94. 線状二階微分方程式、

$X_0, X_1, X_2, X$  フ  $x$  ノ 函 数 ト ス ル ト キ

$$X_0 \frac{d^2 y}{dx^2} + X_1 \frac{dy}{dx} + X_2 y = X \dots \dots \dots (1)$$

フ 線 状 二 階 微 分 方 程 式 ト イ ヒ 應 用 諸 學 科 ニ 於 テ シ バ シ バ 表 ハ レ ル 形 デ ア ル、

今  $\frac{dy}{dx} = Dy$ ,  $\frac{d^2 y}{dx^2} = D^2 y$  ト 書 ク ト (1) ハ 記 號 的 ニ 次 ノ 如 ク 書 キ 表 ハ ス コ ト ラ 得、

$$(X_0 D^2 + X_1 D + X_2) y = X$$

或ハ  $F(D)y = X$

コ、ニ  $F(D)$  又ハ  $X_0 D^2 + X_1 D + X_2$  ハ  $X_0 \frac{d^2}{dx^2} + X_1 D + X_2$  フ 表 ハ シ、 $F(D)y$  又ハ  $(X_0 D^2 + X_1 D + X_2)y$  ハ 記 號 的 ニ

$$X_0 D^2 y + X_1 D y + X_2 y \text{ 即チ } X_0 \frac{d^2 y}{dx^2} + X_1 \frac{dy}{dx} + X_2 y$$

フ 表 ハ ス モ ノ ト ス ル、

サテ  $X=0$  ナル 場 合 ニ (1) フ 同 次 線 状 二 階 微 分 方 程 式 ト イ ヒ、之 ニ 對 シ  $X \neq 0$  ナル 場 合 ニ (1) フ 完 全 線 状 二 階 微 分 方 程 式 ト イ フ、

先ヅ  $X=0$  ナル場合即チ

$$F(D)y=0 \dots \dots \dots (2)$$

ヲ考へルコト、スル、

今  $y=y_1$  ガ (2) ヲ満足スレバ、 $c_1$  ヲ任意ノ常數トスルト、  
 $y=c_1 y_1$  モ亦 (2) ヲ満足スル、何トナレバ

$$D(c_1 y_1) = c_1 D y_1, \quad D^2(c_1 y_1) = c_1 D^2 y_1$$

デアルカラ

$$F(D)(c_1 y_1) = c_1 F(D) y_1$$

然ルニ假定ニヨリ  $F(D)y_1=0$  デアルカラ

$$F(D)(c_1 y_1) = 0$$

デアル、

次ニ又  $y=y_2$  ヲ (2) ノ解トスレバ上ト同様ニ  $c_2 y_2$  モ亦 (2) ノ  
解デアルガ、 $c_1 y_1 + c_2 y_2$  ナル函數モ亦 (2) ヲ満足スル、何トナレバ

$$\begin{aligned} F(D)(c_1 y_1 + c_2 y_2) &= F(D)(c_1 y_1) + F(D)(c_2 y_2) \\ &= c_1 F(D) y_1 + c_2 F(D) y_2 = 0 \end{aligned}$$

デアルカラ、

然ルニ二階微分方程式ノ解ニシテソレガ互ニ獨立ナル任意常數  
ヲ含メバ一般解デアルカラ次ノ定理ガ得ラレル、

**定理 I.** 同次線狀二階微分方程式ノ互ニ一次的ニ獨立ナル二  
ツノ特殊解ヲ  $y_1$  及  $y_2$  トシ  $c_1, c_2$  ヲ任意常數トスレバ  $c_1 y_1 + c_2 y_2$   
ハソノ一般解デアル、

用語上ノ便宜ノタメニ (1) ニ於テ右邊ヲ 0 トオキタルモノノ  
積分即チ (2) ノ一般解ヲ (1) ノ餘函數トイフコトトスル、

今 (1) ノ餘函數ヲ  $Y=c_1 y_1 + c_2 y_2$  トシ (1) ノアル任意ノ特殊解  
ヲ  $U$  トスレバ  $Y+U$  ハ (1) ノ一般デアル、何トナレバ  $Y+D$  ノ

例ニシテ (1) 且ニ合マシテ任意ニ定ムルニ可キニシテ  
 $X=x+0=U(D)Y+(D)Y=U(D)Y+Y$

此ノ場合ニ於テ  $Y$  及  $U$  係數トシテ  
積算スルニシテ  $U(D)Y+Y$  係數トシテ  
積算スルニシテ  $U(D)Y+Y$  係數トシテ  
積算スルニシテ  $U(D)Y+Y$  係數トシテ

大體試合ヲ行フニシテ  $U(D)Y+Y$  係數トシテ

$$(1) \dots \dots \dots X = y_1 \lambda + \frac{y_2}{\lambda} A + \frac{y_3}{\lambda^2} B$$

$$X = y(D) \lambda + X = y(A + D) \lambda + U(D) \lambda$$

$$(2) \dots \dots \dots (D)Y = 0$$

$$D^2 Y = m^2 Y, \quad D^2 Y = m^2 Y, \quad D^2 Y = m^2 Y$$

$$(D)Y = mY, \quad (D)Y = mY, \quad (D)Y = mY$$

$$m^2 Y = m^2 Y, \quad m^2 Y = m^2 Y, \quad m^2 Y = m^2 Y$$

$$0 = (m) \lambda, \quad 0 = (m) \lambda, \quad 0 = (m) \lambda$$

$$0 = y_1 \lambda + m y_2 \lambda + m^2 y_3 \lambda, \quad 0 = y_1 \lambda + m y_2 \lambda + m^2 y_3 \lambda$$

此ノ場合ニ於テ  $Y$  及  $U$  係數トシテ

(2) ノ一般解ヲ (1) ノ餘函數トイフコトトスル、

今 (1) ノ餘函數ヲ  $Y=c_1 y_1 + c_2 y_2$  トシ (1) ノアル任意ノ特殊解



明カニ二ツノ互ニ獨立ナル任意常數ヲ含ミ且 (1) ヲ満足スル即チ

$$f(C)(Y+D)=f(D)Y+f(D)U=0+x=X$$

デアアル故、

依ツテ次ノ定理ヲ得、

**定理 II.** 完全線狀二階微分方程式ノ一般解ハツノ餘函數ト任意ノ特殊解ノ和デアアル、

即チ 一般解=餘函數+任意ノ特殊解、

## 95. 係數ガ常數ナル線狀二階微分方程式、

$k_0, k_1, k_2$  ヲ常數トスルトキ

$$k_0 \frac{d^2 y}{dx^2} + k_1 \frac{dy}{dx} + k_2 y = X \dots \dots \dots (1)$$

ヲ考ヘルコト、スル、記號的ニ書ケバ

$$(k_0 D^2 + k_1 D + k_2) y = X \quad \text{又ハ} \quad f(D) y = X$$

先ヅ  $X=0$  ナル場合ヲ考ヘル、即チ

$$f(D) y = 0 \dots \dots \dots (2)$$

今  $y=e^{mx}$  置ケバ  $Dy=me^{mx}$ ,  $D^2y=m^2e^{mx}$  トナルカラ

$$f(D)e^{mx} = e^{mx} f(m)$$

故ニ  $e^{mx}$  ガ (2) ノ解トナルタメニハ  $m$  ガ

$$f(m) = 0$$

即チ  $k_0 m^2 + k_1 m + k_2 = 0$

ノ根デアレバ宜シイ、

依ツテ (3) ガ互ニ相異ル實根  $m_1, m_2$  ヲ有スルトキハ  $e^{m_1 x}, e^{m_2 x}$  ハ互ニ一次的ニ獨立ナル (2) ノ解デアツテ、 $c_1 e^{m_1 x} + c_2 e^{m_2 x}$  ハ (2) ノ一般解、從ツテ (1) ノ餘函數デアアル、

$m$  の値ヲ決定スベキ方程式 (3) ハ (1) 從ツテ (2) カラ容易ニ得ラレル、コレヲ (1) 又ハ (2) ノ補助方程式トイフ、

$$\text{例 1. } \frac{d^2y}{dx^2} - 3\frac{dy}{dx} + 2y = 0$$

補助方程式ハ  $m^2 - 3m + 2 = 0$  ニシテ、ソノ根ハ 1 及 2 デアルカラ、ソノ一般解ハ

$$y = c_1 e^x + c_2 e^{2x}$$

デアル、

$$\text{例 2. } \frac{d^2y}{dx^2} - 6\frac{dy}{dx} + 25y = 0$$

$$m^2 - 6m + 25 = 0$$

$$\text{故ニ } m = 3 \pm 4i$$

依ツテ一般解ハ

$$y = c_1 e^{(3+4i)x} + c_2 e^{(3-4i)x} \text{ 或ハ } e^{3x}(c_1 e^{4ix} + c_2 e^{-4ix})$$

但シコノ場合ハ一般解ハ複素數デ表ハサレル、コノトキノ處理ニツイテハ後述スル、

## 96. 補助方程式ガ等根ヲ有スル場合、

補助方程式ガ等根ヲ有スルトキハ前節ノ方法デハ互ニ一次的ニ獨立ナル二ツノ解ハ得ラレナイ、コノ場合ニハ今一ツノ解ヲ

$$y = e^{mx} \varphi(x)$$

トオク、コノ  $\varphi(x)$  ハ  $x$  ノ未確定ノ函數デアル、

然ルトキハ

$$Dy = e^{mx}(m\varphi + D\varphi)$$

$$D^2y = e^{mx}(m^2\varphi + 2mD\varphi + D^2\varphi)$$

從ツテ

$$f(D)y = e^{mx}[f(m) \cdot \varphi + f'(m)D\varphi + k_0 D^2\varphi]$$

今  $f(m)=0$  ノ等根ヲ  $m_1$  トスレバ

$$f(m_1)=0, f'(m_1)=0$$

デアアルカラ更ニ  $D^2\varphi=0$  ナラバ  $y=e^{m_1x}\varphi(x)$  ハ

$$f(D)y=0$$

ヲ満足スル、

サテ  $D^2\varphi=0$  ナル  $\varphi(x)$  ノ最モ簡單ナル形ハ  $x$  デアルカラ

$$y=x e^{m_1x}$$

ハ  $f(D)y=0$  ノ解デアアル、依ツテ補助方程式ノ等根ヲ  $m_1$  トスレバ求ムル餘函數ハ

$$c_1 e^{m_1x} + c_2 x e^{m_1x} \text{ 又ハ } e^{m_1x}(c_1 + c_2 x)$$

デアアル、

### 97. 補助方程式ガ虚根ヲ有スル場合、

$k_0, k_1, k_2$  ハ實數デアアルカラ補助方程式ノ一ノ根ヲ  $a+i\beta$  トスレバ他ノ一ノ根ハ  $a-i\beta$  デアル、故ニ餘函數ハ

$$y=c_1 e^{(a+i\beta)x} + c_2 e^{(a-i\beta)x} = e^{ax}(c_1 e^{i\beta x} + c_2 e^{-i\beta x})$$

然ルニ

$$e^{i\beta x} = \cos \beta x + i \sin \beta x, e^{-i\beta x} = \cos \beta x - i \sin \beta x$$

デアアルカラ

$$y = e^{ax} \{ (c_1 + c_2) \cos \beta x + i(c_1 - c_2) \sin \beta x \}$$

ト書キカヘラレ  $c_1 = \frac{A-iB}{2}, c_2 = \frac{A+iB}{2}$  トオケバ

$$y = e^{ax} (A \cos \beta x + B \sin \beta x)$$

トナル、コゝニ  $A, B$  ハ任意常數デアアル、

必要ニ依ツテハ上ノ形ハ又

$$ae^{\alpha x} \sin(\beta x + b), ae^{\alpha x} \cos(\beta x + b)$$

ノ如ク變形出來ル、コゝニ  $a, b$  ハ任意常數デアアル、

例、前節ノ例 2 ノ場合ニハ  $a=3, \beta=4$  デアルカラ

$$y = e^{3x}(A \cos 4x + B \sin 4x)$$

又ハ 
$$= ae^{3x} \cos(4x + b)$$

### 問 題

次ノ微分方程式ヲトケ、

1.  $\frac{d^2y}{dx^2} - a^2y = 0$

答  $y = c_1 e^{ax} + c_2 e^{-ax}$

2.  $\frac{d^2y}{dx^2} + a^2y = 0$

答  $y = A \cos ax + B \sin ax$

3.  $9 \frac{d^2y}{dx^2} - 12 \frac{dy}{dx} + 4y = 0$

答  $y = e^{\frac{2}{3}x}(c_1 + c_2 x)$

4.  $x^2 \frac{d^2y}{dx^2} = \lambda y$  [ $x = e^{\theta}$  トオケ]

答  $y = Ax^{\frac{1}{2} + \sqrt{\frac{1}{4} + \lambda}} + Bx^{\frac{1}{2} - \sqrt{\frac{1}{4} + \lambda}}$

5.  $x^2 \frac{d^2y}{dx^2} + 3x \frac{dy}{dx} + y = 0$  [ $x = e^{\theta}$  トオケ]

答  $xy = A + B \log x$

### 98. 特殊解ヲ求ムル法、

補助方程式ノ二根ヲ  $m_1, m_2$  トスレバ

$$f(D) = k_0(D - m_1)(D - m_2)$$

デアアルカラ記號的ニ

$$f(D)y = k_0(D - m_1)(D - m_2)y$$

ト書クコトヲ得、但シ  $(D - m_2)y$  ノ意味ハ  $Dy - m_2y$  デアル從ツ

テ  $(D-m_1)(D-m_2)y$  ハ  $(D-m_1)(Dy-m_2y)$ , 従ツテ  $D(Dy-m_2y) - m_1(Dy-m_2y)$  ヲ意味スル、

サテ簡單ノタメニ原微分方程式ニ於テ  $k_0=1$  ト假定シテ一般性ヲ失ハナイ、即チ原微分方程式ヲ

$$(D-m_1)(D-m_2)y=X \dots\dots\dots (1)$$

トスル、

今  $(D-m_2)y=u$  ナル新シキ函數ヲ考ヘルト

$$(D-m_1)u-X=0$$

即チ

$$\frac{du}{dx} - m_1u = X$$

トナリ、コレハ  $u$  ニ關シ線狀一階一次方程式デアル、

故ニ

$$e^{-m_1x}u = \int e^{-m_1x}Xdx + c$$

即チ

$$u = e^{m_1x} \int e^{-m_1x}Xdx + ce^{m_1x}$$

依ツテ

$$(D-m_2)y = e^{m_1x} \int e^{-m_1x}Xdx + ce^{m_1x}$$

コノ方程式モ亦線狀一階一次微分方程式デアルカラ

$$e^{-m_2x}y = \int e^{(m_1-m_2)x} \left[ \int e^{-m_1x}Xdx \right] dx + \frac{c}{m_1-m_2} e^{(m_1-m_2)x} + c'$$

$$\text{故ニ } y = e^{m_2x} \int e^{(m_1-m_2)x} \left[ \int e^{-m_1x}Xdx \right] dx + \frac{c}{m_1-m_2} e^{m_1x} + c' e^{m_2x}$$

$$c_1 = \frac{c}{m_1-m_2}, c_2 = c' \text{ トオキ (1) ノ解}$$

$$y = e^{m_2x} \int e^{(m_1-m_2)x} \left[ \int e^{-m_1x}Xdx \right] dx + c_1 e^{m_1x} + c_2 e^{m_2x}$$

ヲ得、コノ  $c_1, c_2$  ハ任意常數デアル、

上式ニ於テ最後ノ二項ヨリナル式ハ既ニ述ベタ餘函數ニ他ナラナイ、尙補助方程式ガ等根ヲ有スル場合ニモ全ク同様ニ處理セザレコノ場合ニモ亦餘函數ガ現ハレル、何レノ場合ニ於テモ第一項ハ (1) ノ特殊解デアル、

例、  $\frac{d^2y}{dx^2} - \frac{dy}{dx} - 2y = e^{-x}$

補助方程式ハ  $m^2 - m - 2 = 0$  ナル故  $m = -1, 2$

依ツテ餘函數ハ  $c_1e^{-x} + c_2e^{2x}$

次ニ特殊解ハ

$$\begin{aligned} e^{2x} \int e^{(-1-2)x} \left[ \int e, e^{-x} dx \right] dx \\ = e^{2x} \int e^{-3x} x dx \\ = -\frac{1}{3} x e^{-x} - \frac{1}{9} e^{-x} \end{aligned}$$

$e^{-x}$  ハ餘函數ニ含マレテ居ルカラ特殊解トシテ  $-\frac{1}{3} x e^{-x}$  ヲ採用ス

レバヨイ、依ツテ一般解ハ

$$y = c_1 e^{-x} + c_2 e^{2x} - \frac{1}{3} x e^{-x}$$

### 問 題

1.  $\frac{d^2y}{dx^2} - \frac{dy}{dx} - 2y = \sin x$       答  $y = c_1 e^{-x} + c_2 e^{2x} + \frac{1}{10}(\cos x - 3 \sin x)$
2.  $\frac{d^2y}{dx^2} - 2\frac{dy}{dx} + y = \frac{e^x}{(1-x)^2}$       答  $y = e^x [c_1 + c_2 x - \log(1-x)]$

## 99. 特殊解ヲ求ムル別法、

$$(D-m_1)(D-m_2)y=X$$

ヲ記號的ニ

$$y = \frac{1}{(D-m_1)(D-m_2)}X \dots\dots\dots (1)$$

ト書キ直ホシ  $\frac{1}{(D-m_1)(D-m_2)}$  ヲ  $(D-m_1)(D-m_2)$  ノ逆運算ト考

ヘル、即チ  $\frac{1}{(D-m_1)(D-m_2)}X = (D-m_1)(D-m_2)$  ヲ働カスト

ヲ得ルモノトスル、

代數的ニ

$$\frac{1}{(D-m_1)(D-m_2)} = \frac{1}{(m_1-m_2)} \left( \frac{1}{D-m_1} - \frac{1}{D-m_2} \right)$$

デアルカラ、今  $m_1 \neq m_2$  ト假定スルト (1) ハ

$$y = \frac{1}{m_1-m_2} \left( \frac{1}{D-m_1}X - \frac{1}{D-m_2}X \right)$$

トナリ  $u = \frac{1}{D-m}X$  トオクト

$$(D-m)u = X$$

トナルカラ之ヲトキ

$$ue^{-mx} = \int e^{-mx}X dx$$

故ニ

$$u = e^{mx} \int e^{-mx}X dx$$

トナルカラ

$$y = \frac{1}{m_1-m_2} \left[ e^{m_1x} \int e^{-m_1x}X dx - e^{m_2x} \int e^{-m_2x}X dx \right]$$

上述ノ方法ハ補助方程式ノ根ガ虚數アルトキニ優レテキル、

今補助方程式ノ二根ヲ  $a+i\beta$ ,  $a-i\beta$  トスルト

$$y = \frac{1}{2i\beta} \left[ \frac{1}{D-(a+i\beta)} X - \frac{1}{D-(a-i\beta)} X \right]$$

トナリ,

$$\begin{aligned} \frac{1}{D-(a+i\beta)} X &= e^{(a+i\beta)x} \int e^{-(a+i\beta)x} X dx \\ &= e^{ax} (\cos \beta x + i \sin \beta x) \int e^{-ax} X (\cos \beta x - i \sin \beta x) dx \end{aligned}$$

同様ニ

$$\frac{1}{D-(a-i\beta)} X = e^{ax} (\cos \beta x - i \sin \beta x) \int e^{-ax} X (\cos \beta x + i \sin \beta x) dx$$

従ツテ

$$y = \frac{1}{\beta} e^{ax} \left[ \sin \beta x \int e^{-ax} X \cos \beta x dx - \cos \beta x \int e^{-ax} X \sin \beta x dx \right]$$

### 問 題

次ノ微分方程式ヲ解ケ、

- $\frac{d^2 y}{dx^2} - 3 \frac{dy}{dx} + 2y = e^x$  答  $y = c_1 e^x + c_2 e^{2x} - x e^x$
- $\frac{d^2 y}{dx^2} + y = \sec x$  答  $y = c_1 \sin(x + c_2) + x \sin x + \cos x \log \cos x$
- $\frac{d^2 y}{dx^2} + a \frac{dy}{dx} + by = k$

答

$$\left\{ \begin{array}{l} a^2 > 4b \text{ ナル トキハ} \\ y = c_1 e^{m_1 x} + c_2 e^{m_2 x} + \frac{k}{b} \\ \text{コノ } m_1, m_2 \text{ ハ } m^2 + am + b = 0 \text{ ノ根、} \\ a^2 = 4b \text{ ナル トキハ} \\ y = e^{-\frac{a}{2}x} (c_1 + c_2 x) + \frac{k}{b} \\ a^2 < 4b \text{ ナル トキハ} \\ y = c_1 e^{-\frac{a}{2}x} \sin \left( \frac{\sqrt{4b-a^2}}{2} x + c_2 \right) + \frac{k}{b} \end{array} \right.$$